

**「土浦市まち・ひと・しごと創生 人口ビジョン・総合戦略」策定に係る
アンケート調査結果報告書（転入者）【速報版】**

（１）アンケートの実施概要

調査目的	土浦市が進むべきビジョン・戦略を改めて検討するため、転入者に対して、土浦市へ転入した理由及び評価などについての意向を把握することを目的とする。
調査対象者	2018年(平成30年)1月から12月の1年間に本市に転入し、現在も本市に在住する18歳以上の方
調査対象者数	1,500人
調査期間	配布:5月31日, 回収:6月30日
調査方法	郵送による配布・回収
回収状況	回収数:332票(回収率:22.1%)

■調査項目

分類	設問	回答方式
回答者自身 のこと	問1. あなたの性別は。	単一回答
	問2. あなたの年齢は。	
	問3. あなたの御職業は。	
転入前(他市 区町村)と転 入後(土浦 市)の住まい	問4. 転入前の市区町村にどれくらいお住まいだったか。	
	問5. 「転入前のお住まい」と「現在のお住まい」のお住まいの形態及び世帯構成。	
	問6. 現在, 土浦市ではどの地区にお住まいか。	
	問7. 土浦市に転入する前はどちらにお住まいだったか。	
土浦市に転 入した理由 及び評価	問8. あなたが土浦市に転入した最も大きな理由は何か。	複数回答
	問9. 土浦市での生活はいかがか。	
	問10. 【問9で「1」、「2」とお答えの方】土浦市のどんなところに満足いただけているか。	
	問11. 【問9で「4」、「5」とお答えの方】土浦市のどんなところに不満があるか。	単一回答
	問12. 転居の際には, 土浦市外でもお住まいを探したか。	
	問13. 【問12で「1」、「2」とお答えの方】最終的に現在のお住まいを選んだ理由は何か。	複数回答
	問14. あなたは, 今後土浦市に愛着を持てるか。	単一回答
	問15. あなたは, 将来, 土浦市に住み続けたいと思うか。	
	問16. 【問15で「1」、「2」とお答えの方】土浦市に住み続けたいと思う理由は何か。	複数回答
	問17. 土浦市がどのようなまちになれば, 住み続けたいと思うか。または, 人口流入が見込めると思うか。	

(2) アンケートの主な結果

■転入前(他市区町村)と転入後(土浦市)の住まいについて [問4～問7]

○転入前の居住年数は、「1～5年未満」(37.7%)が最も多かった。[問4]

○居住形態は転入前・後ともに、「**民営借家(マンション・アパート)**」(転入前:45.8%→**転入後:49.5%**)が最も多く、次いで「持家(一戸建て)」(転入前:29.8%→転入後:32.5%)となった。転入前に比べ、転入後は、「社宅(会社の寮・宿舍等)」が5.8%減少している。[問5]

○転入前の世帯構成は、「**夫婦と子ども**」(32.5%)が最も多く、次いで「一人世帯」(29.8%),「夫婦のみ」(13.2%)の順となっている。転入後は、「**夫婦のみ**」(30.5%)が最も多く、次いで「夫婦と子ども」(27.1%),「一人世帯」(20.6%)の順となっている。転入前に比べ、転入後は、「夫婦のみ」が17.3%増加し、「一人世帯」が9.2%減少している。[問5]

○居住地区は、「**三中地区**」(23.8%)が最も多かった。[問6]

○転入前の居住地は、「**その他茨城県外市町村**」(26.3%)が最も多く、全体で茨城県内が55.4%,茨城県外が44.6%となった。[問7]

■土浦市に転入した理由及び評価について [問8～問17]

○転入した理由は、「**仕事の都合(就職, 転勤, 転職, 退職等)**」(40.2%)が最も多く、次いで「家庭の都合(結婚・離婚, 子どもの進学, 親の介護等)」(31.3%)が多かった。また、つくば市から転入した方は「家庭の都合(結婚・離婚, 子どもの進学, 親の介護等)」(38.1%)が、牛久市, 阿見町から転入した方は「住宅の都合(持家の購入, 広さ・間取り等)」(牛久市:44.4%, 阿見町:50.0%)が最も多かった。[問8]

○生活満足度は、「**まあまあ満足**」(53.2%)が最も多く、「大変満足」(7.6%)と合わせると、およそ6割の方が生活に満足していることとなる。[問9]

○満足している項目は、「**日常の買い物に便利なところ**」(62.4%)が最も多く、次いで「通勤・通学に便利なところ」(39.2%)が多かった。また、つくば市, 牛久市から転入した方は「日常の買い物に便利なところ」(つくば市:63.6%, 牛久市:72.7%)が、阿見町から転入した方は「通勤・通学に便利なところ」と「日常の買い物に便利なところ」(57.1%)が最も多かった。[問10]

○不満を感じてる項目は、「その他」(ゴミ袋が高い, 都内まで遠い等)以外に、「**治安が悪いところ**」(34.7%)が最も多かった。また、つくば市から転入した方は「治安が悪いところ」(50.0%)が、牛久市から転入した方は「子育て支援策が不十分なところ」と「保健・福祉サービスが不十分なところ」(66.7%)が、阿見町から転入した方は「その他」以外に、「市内・近隣に働く場所がないところ」と「街並みが古かったところ」(50.0%)が最も多かった。[問11]

○住まい探しは、「**他の地区町村も探したが, 土浦市内に決めた**」(35.4%)が最も多く、次いで「最初から土浦市内に住むつもりで, 他の市町村内では探さなかった」(32.5%),「現住所に住むしかなかった(社宅が現住所にある, 同居する家族が住んでいるなど)」(32.2%)の順となっている。[問12]

■土浦市に転入した理由及び評価について [問8～問17]

- 住まいの決定理由は、「**職場、学校が近いから**」(50.0%)が最も多かった。また、つくば市から転入した方は「住宅価格、家賃が妥当だから」(59.3%)が、牛久市から転入した方は「職場、学校が近いから」と「住宅価格、家賃が妥当だから」(50.0%)が、阿見町から転入した方は「交通の便が良いから」と「職場、学校が近いから」(38.5%)が最も多かった。[問13]
- 土浦市への愛着は、「**どちらかといえば愛着を持てる**」(41.1%)が最も多く、「愛着を持てる」(17.1%)と合わせると、およそ 6 割の方が土浦市に愛着を持てることとなる。[問14]
- 土浦市に住み続けたいかどうかについては、「**選択肢の一つとして考えたい**」(36.9%)が最も多かった。[問15]
- 土浦市に住み続けたいと思う理由は、「**買い物など生活環境が良いから**」(34.4%)が最も多かった。[問16]
- 住み続けたいと思うまちについては、「**買い物の場や公共交通の充実などの生活利便性のあるまち**」(46.6%)が最も多く、次いで「子育て支援が充実したまち」(33.1%)、「保健医療、高齢者福祉などが充実したまち」(25.9%)となっている。[問17]